

第1回SPARC Japanセミナー2010
「学会の仕事とその経営を知る」

学会誌編集業務の実際

2010年6月23日
日本疫学会
橋本 勝美

1

日本疫学会

- 会員数 1520名 (2010年4月現在)
- 1991年発足
- 会員: 疫学研究者、臨床家、
保健現場での実践活動に携わる方

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jea/index.html>

2

Journal of Epidemiology (JE)

- 日本疫学会誌 Peer-review Journal
- 学会発足と同時に出版開始 現在Vol.20
- 年6回 + Supplement発行 (冊子+オンライン)
- Online Journal: J-STAGEで無料公開
- Impact Factor: 2009年 1.643
- 採択率: 2009年 25 ~ 30%



3

JE編集室

- 編集委員長の所属施設
現在は国立がん研究センター
- 編集委員長任期 3年
現在3年目
- 専任編集担当者 (Editorial Coordinator)
現編集委員会から
- 編集委員22名

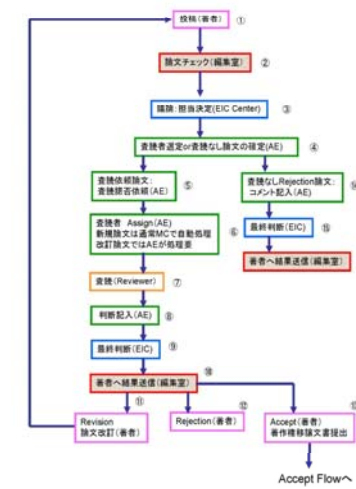
4

編集室業務

(編集担当者1人: One Person Publisher?)

- 投稿論文受付・査読管理
- 論文acceptから出版までの管理
- 編集委員会・理事会資料作成
- 情報収集
- 編集委員会用ホームページ管理
- 予算
- 問合せ対応

査読flow



Accept論文flow



現編集室の目標

1. 編集委員長が任期制のため、引継ぎをしても後任者が出版可能な編集体制を作る。
2. 世界標準の国際ジャーナルに近づける。

目標1

引継ぎをしてもスムーズに出版をするには

- Online投稿・査読システムの導入は必須

メール添付の論文管理は不可能
データベースなしの論文管理は不可能
著者、査読者とのやり取りメール管理は不可能

- 編集委員専用ホームページ開設
編集委員がマニュアルをいつでも参照可能に

目標1 引継ぎしてもスムーズに出版 Online投稿・査読システム導入

- 目的
 - 論文管理
 - 著者、編集室、編集委員、査読者、校閲、印刷会社の対応記録を残す。
- 導入システム採択基準
 - 使いやすさ
 - 機能(自動reminder送信、reference check、レポート機能など)
 - 費用
 - サポート(日本代理店の有無)

9

目標1 引継ぎしてもスムーズに出版 Online投稿・査読システム導入 Manuscript Central(MC)を採用

- 投稿から掲載までの論文一元管理
 - 投稿からAcceptまでのPeer Review利用
 - 自動reminder送信(日本語にも対応)機能
 - AcceptからProofまでのProduction利用
 - 校閲原稿、Reference Check Sheet、校正原稿もMCにアップロード
 - 著者へのaccept後の原稿確認もMCから送信
- レポート利用(編集委員会、理事会用資料)
- 日本に代理店がありサポートを受けられる。

10

目標1 引継ぎしてもスムーズに出版 編集委員会専用ホームページ

Journal of Epidemiology	
MC Manual	お知らせ
Email Template	2009.4 JE編集委員会ホームページを開発しました。
内部手順書	2010.5 2010年第3回編集委員会資料をuploadしました。
編集委員会資料	Link
クレジット決済履歴一覧	日本疫学会
Contact	Manuscript Central
	J-STAGE Online Journal

Manuscript Central Manual	
AE MC Manual	
論文投稿のAE審査	
訂正論文投稿のAssign	
MCからのメール返信	
MCからのメール返信確認済み	
MCから送信したメールへの返信	
Reviewer査読状況	
AE Reviewer(アカウント)追加	
AE審査後の提出論文確認	
Preferred/ Non-preferred reviewerの確認	
内部手順書	
MC Workflow	
投稿・査読Workflow	
Accept後Workflow	
編集委員会決定事項	
決定事項詳細	
COPE duplicate publication	

11

目標2 世界標準のジャーナルに近づけるには



- 英文校閲導入
 - スタイルの決定
 - Online Journalでの早期公開
 - 情報を収集
 - 編集委員の編集知識の標準化
- ➡ 編集委員会の回数を増やす

12

目標2 世界標準のジャーナルに近付ける JEのスタイル決定

- 英文校閲者・印刷会社・編集室で話し合う。
 - Uniform Requirement、AMA、CSEのスタイルマニュアル参照
- eXtylesの導入(印刷会社)
 - Reference Check (PubMedリンクチェック)
 - スタイルの半自動編集
 - XML作成: NLM-DTD

13

Reference Check Sheet

result	ID	meta	psid	comment
	1	Murray CJ, Lopez AD. Mortality by cause for eight regions of the world: Global Burden of Disease Study. Lancet. 1997;349:1269-76.	9142060	
	2	Wu Z, Yao C, Zhao D, Wu G, Wang W, Liu J, et al. Sino-MONICA project: a collaborative study on trends and determinants in cardiovascular diseases in China. Part I: morbidity and mortality monitoring. Circulation. 2001;103:462-8.	11152701	
	3	Gu D, Reynolds K, Wu X, Chen J, Duan X, Reynolds RF, et al. Prevalence of the metabolic syndrome and overweight among adults in China. Lancet. 2005;365:1398-405.	15836888	
	4	Liu J, Hong Y, D'Agostino RB Sr, Wu Z, Wang W, Sun J, et al. Predictive value for the Chinese population of the Framingham CHD risk assessment tool compared with the Chinese Multi-Provincial Cohort Study. JAMA. 2004;291:2591-9.	15173150	
Check	5	Sjostrom L, Narbro K, Sjostrom CD, Narbro K, Peltonen M, Wedel H, et al. Effects of bariatric surgery on mortality in Swedish obese subjects. N Engl J Med. 2007;357:741-52.	17715408	Medline reports the first author should be "Sjostrom L" not "Sjostrom L" in the reference 5 "Sjostrom, Narbro, Sjostrom, Narbro, Peltonen, Wedel, et al, 2007".
		Sjostrom L, Narbro K, Sjostrom CD, Karason K, Larsson B, Wedel H, Lystig T, Sullivan M, Bouchard C, Carlsson B, Bengtsson C, Dahlgren S, Gunnarsson A, Jacobson P, Karlsson J, Lindros AK, Lonnroth H, Naskund I, Olbers T, Stenlof K, Torgerson J, Agren G, Carlsson LM; Swedish Obese Subjects Study. Effects of bariatric surgery on mortality in Swedish obese subjects. N Engl J Med. 2007;357(8):741-52.	17715408	
		He J, Gu D, Reynolds K, Wu X, Muntner P, Zhao J, et al. Serum total and lipoprotein cholesterol levels and awareness, treatment, and control of hypercholesterolemia in China. Circulation. 2004;110:405-11.	15238453	
Check	7	Expert Panel on Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Cholesterol in Adults (Adult Treatment Panel III). Third report of the National Cholesterol Education Program (NCEP) Expert Panel on Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Cholesterol in Adults (Adult Treatment Panel III) final		Medline indexes "Circulation" but cannot find a listing for the reference 7 "National Cholesterol Education Program (NCEP, 2002". Please check the reference for accuracy.

著者記載の
reference

著者名記載が
PubMedと違うことを
指摘

PubMed記載の
reference

目標2 世界標準のジャーナルに近付ける Online Journal早期公開

- Acceptから早期公開: 4.5ヶ月~5.5ヶ月
- 早期公開から本公開: 1.5ヶ月~2ヶ月

15

目標2 世界標準のジャーナルに近付ける 情報収集 (ネット)

- ICMJE: Uniform Requirement
- COPE: 二重投稿、その他倫理
- CSE: 主に米英ジャーナルの動向
- Web of Science: IF、引用状況、分析
- 他誌Instruction

情報収集 (セミナー)

- SPARC
- JST
- 図書館総合展
- CSE
- JAMJE

16

目標2 世界標準のジャーナルに近付ける 編集委員会

- 編集委員の編集知識の標準化、情報の共有
 - Uniform Requirement
 - ガイドライン(CONSORT、STROBEなど)
 - 倫理(COI、FFP)と対策(COPEチャート、CrossCheckなど)
- Instructions to Authors改訂
 - 編集委員に担当を割り当てる。
- 引用分析と対策
- Supplement出版policy



17

結果

• 投稿数の増加

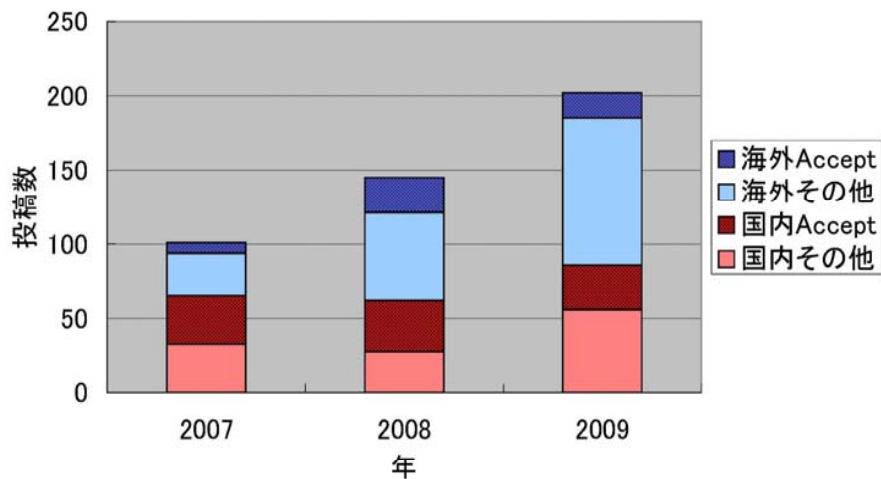
– 特に海外からの投稿増加

- 但し、投稿数増加により質は低下傾向
- 2010年4月投稿分より掲載料徴収開始により急増加はとまる。

• 掲載論文数の増加

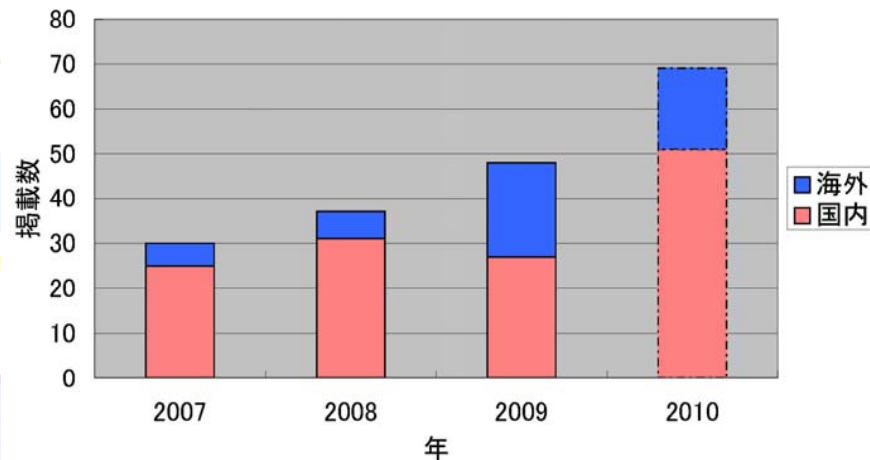
18

投稿数推移



19

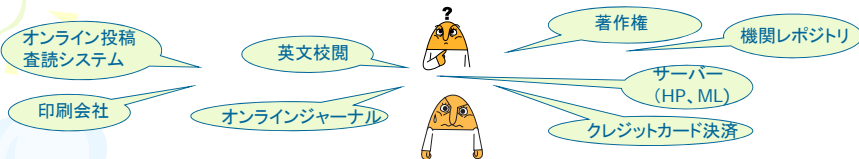
掲載論文数推移



20

実践までの道のりは険しい

何を 誰に 聞けばよい??



- 学術雑誌出版関係知り合いに手当たり次第聞きまくる。
- ICMJEや米英の編集者学会のサイトから信頼できそうな関連業者を見つけ、メールで問い合わせる。
- セミナー、編集者会議に出席し、情報をかき集める。

ネットワークが広がり、解決の糸口が見つかる。

21

数々の失敗

• 1年目の英文校閲会社

- 営業文句にのせられた。
- 料金に魅せられた。



結果: 安かろう悪かろう

- 複数の校閲者が校閲するので、統一されない。
- 管理がいい加減



一人のNative専任校閲者に変更。

結果: スタイル、文言等の統一は可能になる。
但し、費用は倍以上になる。

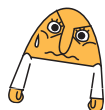
22

• 1年目の印刷会社

- 営業文句にのせられた

- 英文ジャーナルの印刷実績がない

結果: 「スタイル」の存在しないジャーナルを出版



英文ジャーナル出版に実績ある印刷会社に変更。

eXtylesを導入。

結果: 印刷会社、校閲者とスタイルマニュアルを確認しながらJEスタイルを決定する。



23

今後の課題

- Acceptから出版までのフローの簡略化
- 収支構造の改善
- 世界の標準に追いつくには?

24



ご清聴ありがとうございました。

橋本 勝美

kahashim@ncc.go.jp